

2018年3月期 第2四半期決算

説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2017年10月27日



2018年3月期 第2四半期決算のポイント

- 2Q(7 - 9月)は堅調な仕上がりで、中間期の営業利益としては過去最高益となり、最終損益では第1四半期の赤字から黒字転換。
これまで期初見通しを上回る進捗であり、中間配当を予定通り実施。
- 多結晶シリコン、ICケミカルなどの電子材料も、活況を呈する半導体市場を背景に堅調な仕上がり。
- クロルアルカリを中心として化成品では、アジア市場において需給がタイトであり引き続き好調。
- 有利子負債削減、成長投資など中期経営計画に掲げる課題については着実に実行。

CONTENTS

1 2018年3月期 第2四半期決算

2 2018年3月期 業績予想

3 トピックス

4 補足資料

※本資料に掲載している全ての営業利益については、休止部門費を「売上原価」に含めており、前年度以前の数値については「営業外費用」から「売上原価」に組み替えて表示しています。

1 2018年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高
／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高
／営業利益増減分析

1. 決算概要

連 結 (前年同期比)

(億円未満切捨て)
(億円)

	2017年 3月期 第2四半期累計	2018年 3月期 第2四半期累計	増 減	
			金額	%
売上高	1,425	1,461	+35	+3
営業利益	176	188	+12	+7
経常利益	145	156	+11	+8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	184	1	△182	△99

1株当たり四半期純利益(円)※	261.42	△ 20.87
為替(円/\$)	105	111
国産ナフサ価格 (円/kg)	31,400	37,700

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(売上高)

増収要因: セメント等の主力製品の販売数量堅調
苛性ソーダや石化製品の販売価格是正

(営業利益)

増益要因: 各事業の販売数量堅調
価格是正により収益改善

減益要因: 原燃料価格上昇に伴う製造コスト増加

(経常利益)

増益要因: 営業利益の増加

(親会社株主に帰属する当期純利益)

減益要因: トクヤママレーシアの譲渡完了による子会社譲渡損の発生と非支配株主持分損益の計上

※平成29年3月期第2四半期及び平成30年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益については、親会社株主に帰属する四半期純利益から、普通株式に帰属しない金額(A種種類株式にかかる配当金額、A種種類株式償還プレミアム。但し、平成29年3月期第2四半期は前者のみ)を控除した金額を、普通株式の期中平均株式数で除して算定しています。

1. 決算概要

連 結（前 期 末 比）

（億円）

	2017年 3月末	2017年 9月末	増 減
総資産	4,244	3,616	△627
自己資本	1,270	1,063	△206
自己資本比率	29.9%	29.4%	△0.5ポイント
有利子負債	2,139	1,675	△464
D/Eレシオ	1.68	1.58	△0.11
ネットD/Eレシオ*	0.73	0.90	+0.18
1株当たり純資産(円)	1,527.42	1,528.48	

平成29年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定していません。

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

定性情報(前期末比)

（総資産）

減少項目：現金及び預金の減少

（自己資本）

減少項目：種類株式の消却による株主資本の減少

（有利子負債）

減少項目：社債の信託型デット・アサンプション契約締結

長期借入金の期限前弁済

2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

	2017年3月期 第2四半期累計		2018年3月期 第2四半期累計		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	389	59	433	69	+43	+11	+9	+17
特殊品	316	33	272	43	△43	△14	+10	+30
セメント	395	37	425	22	+29	+7	△14	△40
ライフアメニティー	256	28	253	14	△3	△1	△13	△47
その他	258	26	266	31	+7	+3	+4	+18
計	1,617	185	1,651	182	+33	+2	△3	△2
セグメント間消去・ 全社費用	△191	△8	△189	6	+1	-	+15	-
連結決算	1,425	176	1,461	188	+35	+3	+12	+7

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

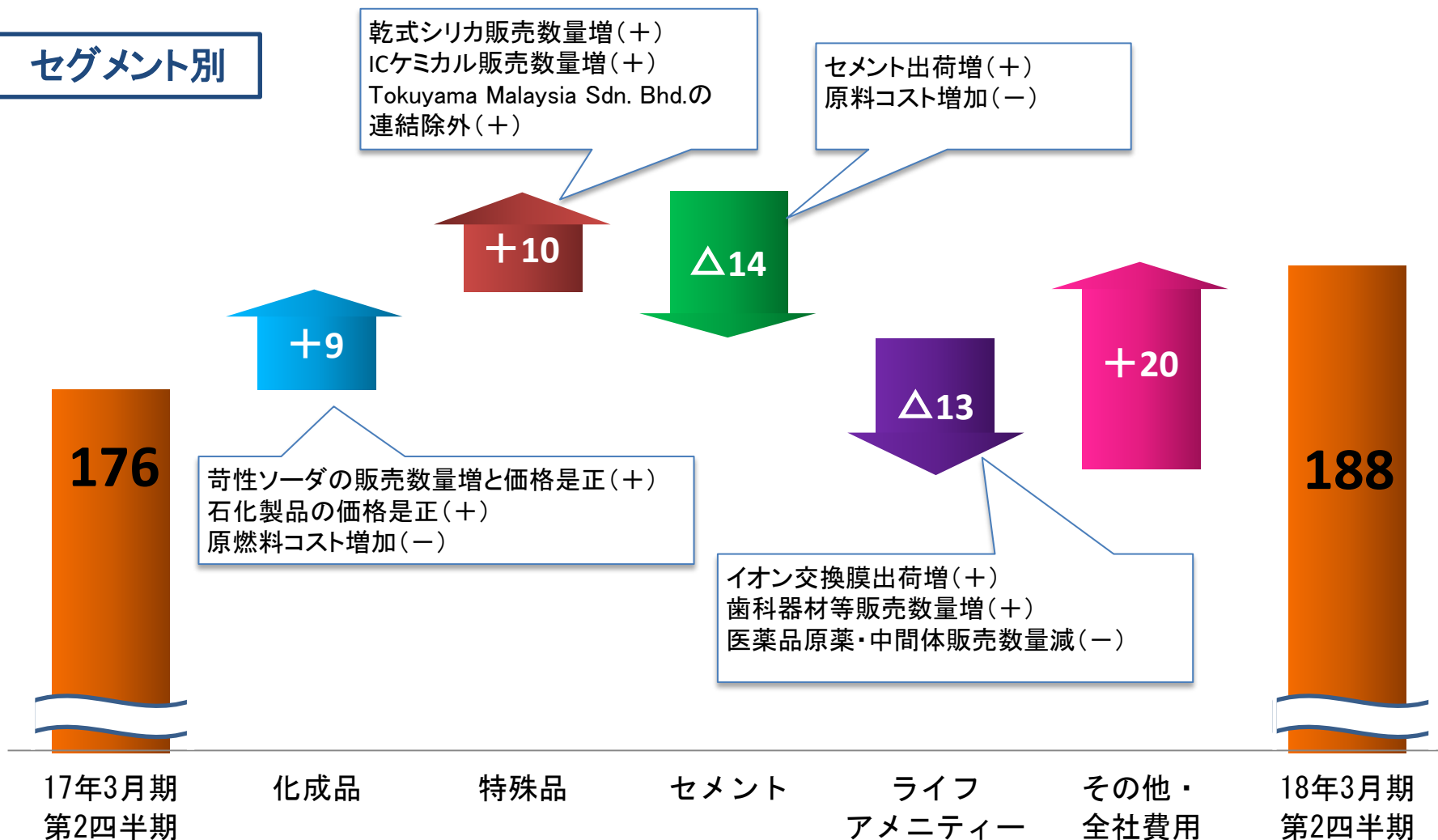
(参考) 2017年3月期第2四半期は2016年4月～9月、2018年3月期第2四半期は2017年4月～5月の損益を表示。

トクヤママレーシア	75	△9	16	△6	△59	-	+2	-
-----------	----	----	----	----	-----	---	----	---

3. 営業利益増減分析

(前 年 同 期 比) (億 円)

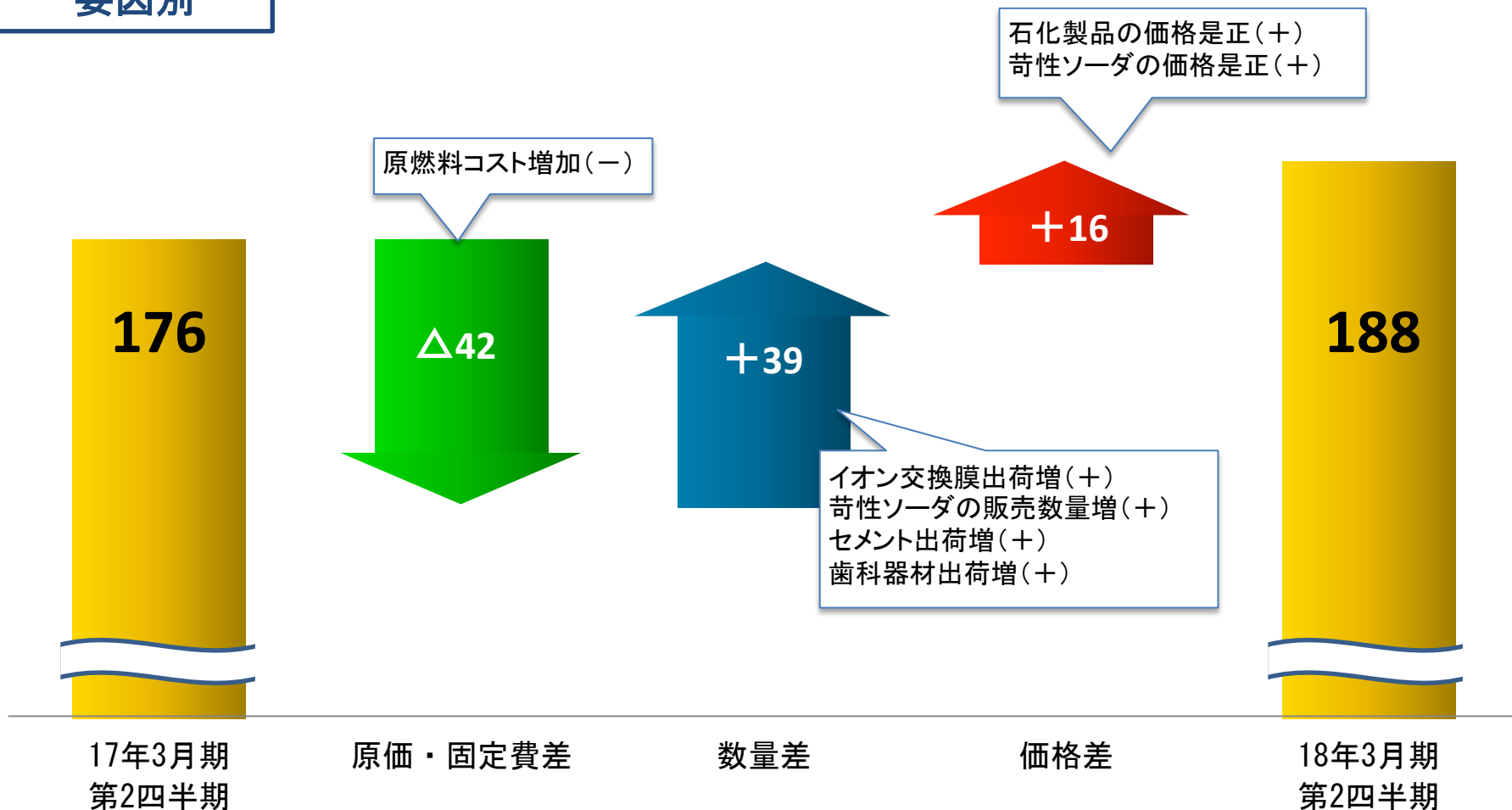
セグメント別



3. 営業利益増減分析

(前年同期比) (億円)

要因別



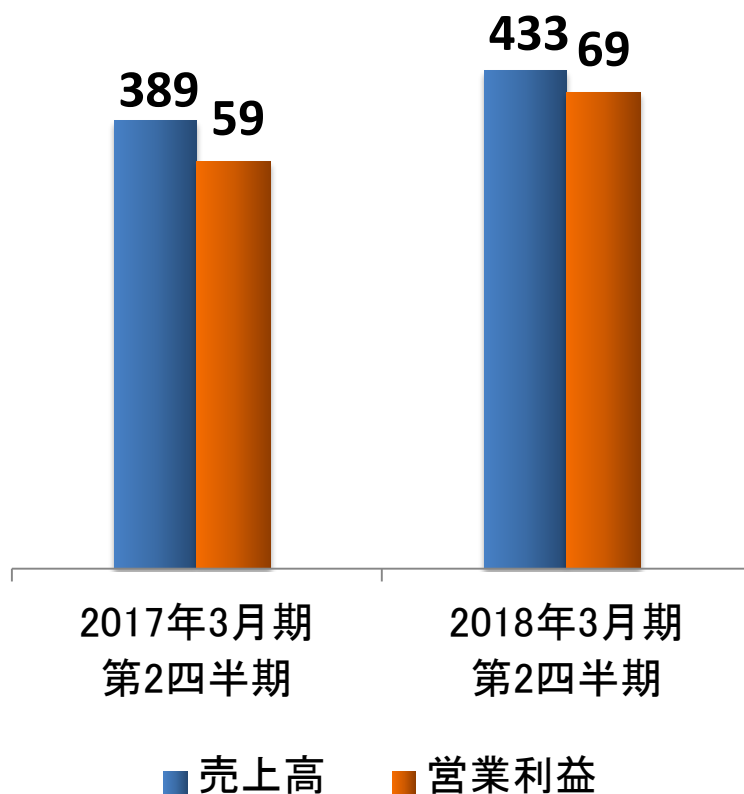
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

化成品

増収増益

定性情報

(億円)



(苛性ソーダ)

- ・国内、輸出の出荷増と、販売価格是正により増収

(塩ビモノマー)

- ・アジア向け出荷の増加により増収

(塩ビ樹脂)

- ・販売価格是正により増収

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

特殊品

減収増益

定性情報

(億円)

(半導体用多結晶シリコン)

・出荷堅調

(乾式シリカ)

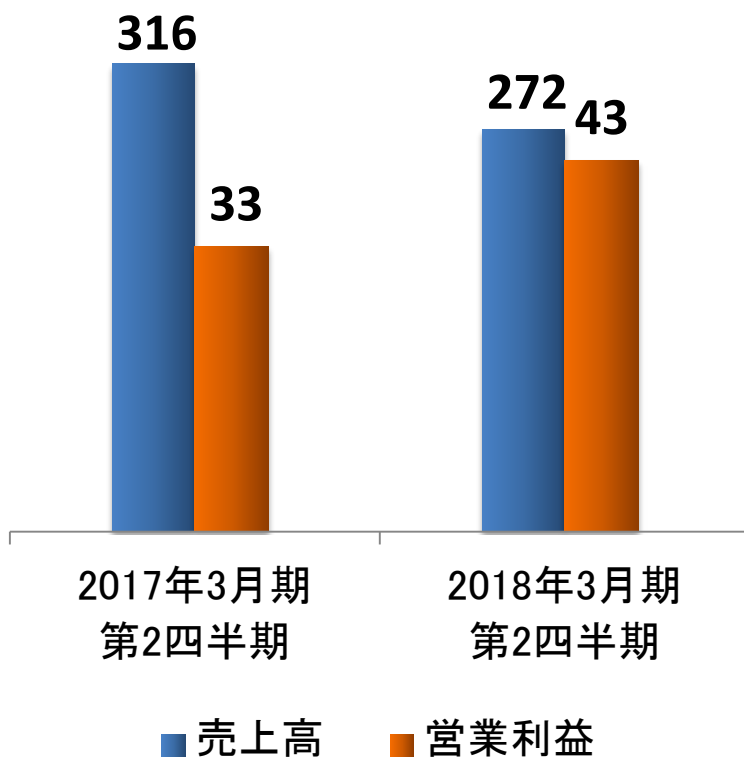
・CMP向け販売数量増

(電子工業用高純度薬品)

・半導体用途で出荷堅調

(窒化アルミニウム)

・半導体製造装置向けを中心に出荷堅調



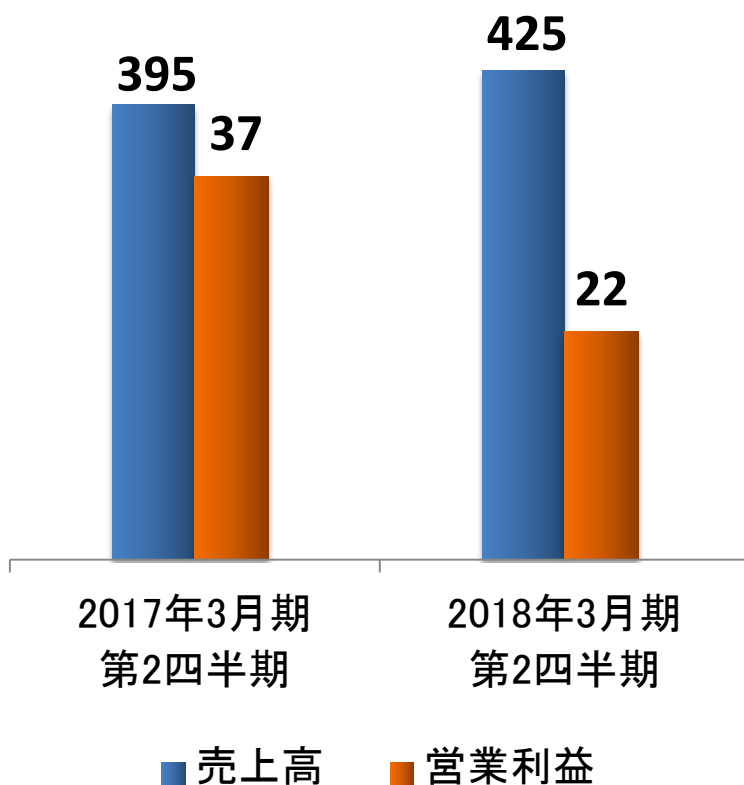
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

セメント

増収減益

定性情報

(億円)



(セメント)

- ・東京五輪を背景とする東京地区を中心に国内出荷は増加し、需要旺盛なアジア地区への輸出増により増収
- ・連結子会社は、生コンクリート等の出荷が好調だったため増収
- ・石炭等の原料価格上昇による製造コスト増で減益

(資源リサイクル)

- ・廃棄物の受入数量は減少したものの、廃棄物処理単価が上昇した結果、前年同期並みの収益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

ライフアメニティー

減収減益

定性情報

(億円)

(歯科器材)

・新製品、海外向けの販売数量増

(イオン交換膜)

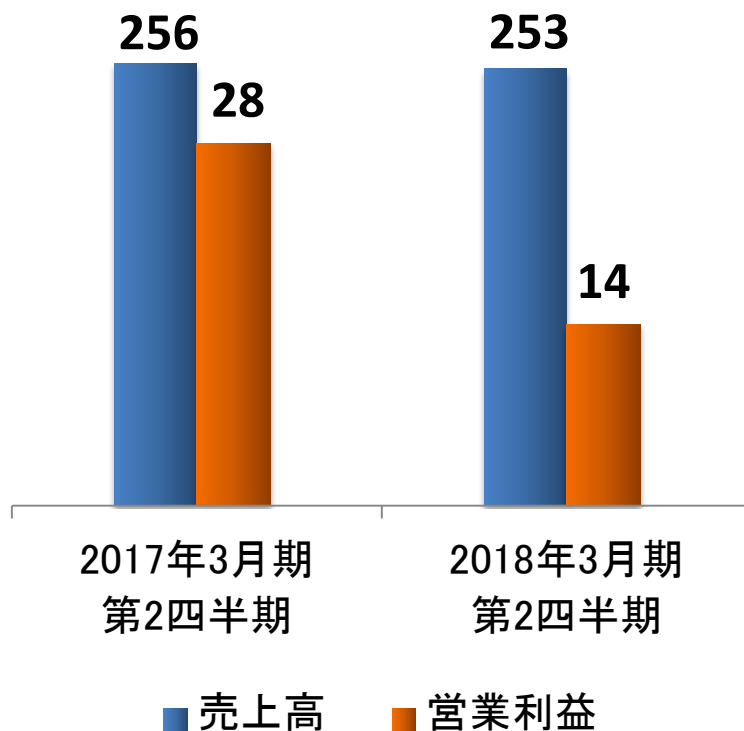
・大型案件の受注により増収

(医薬品原薬・中間体)

・ジェネリック医薬品向けの販売数量が減少し、減収

(微多孔質フィルム)

・サニタリー用品向けで、海外の連結子会社での販売数量減



2 2018年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想



1. 業績予想

連結（予想の前期比）

(億円)

	2017年3月期 実績	2018年 3月期 予想 (4/28公表)
売上高	2,991	3,000
営業利益	385	360
経常利益	339	320
親会社株主に帰属する 当期純利益	521	130

増 減	
金額	%
+8	+0
△25	△7
△19	△6
△391	△75

1株当たり当期純利益(円)	738.92	163.50
為替(円/\$)	108	105
国産ナフサ価格 (円/kg)	34,700	39,000

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

今後の事業環境については、為替、原燃料価格の変動など、不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定範囲内で推移している。

そのため、2017年4月28日に公表した業績予想を据え置く。

2. セグメント別業績予想

(予想の前期比)

(億円)

	2017年3月期実績		2018年3月期予想 (4/28公表)		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	833	129	890	130	+56	+7	+0	+0
特殊品	677	92	560	95	△117	△17	+2	+3
セメント	829	75	860	55	+30	+4	△20	△27
ライフアメニティー	507	53	540	40	+32	+6	△13	△26
その他	521	59	520	55	△1	△0	△4	△8
計	3,369	411	3,370	375	+0	+0	△36	△9
セグメント間 消去・全社費用	△378	△25	△370	△15	+8	-	+10	-
連結決算	2,991	385	3,000	360	+8	+0	△25	△7

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

③ トピックス

1. 配当について
2. 有利子負債削減
3. 台湾徳亞瑪の第2工場建設



1. 配当について

中間配当を予定通り1株当たり2円実施。

期末については1株当たり10円実施予定(株式併合考慮)。

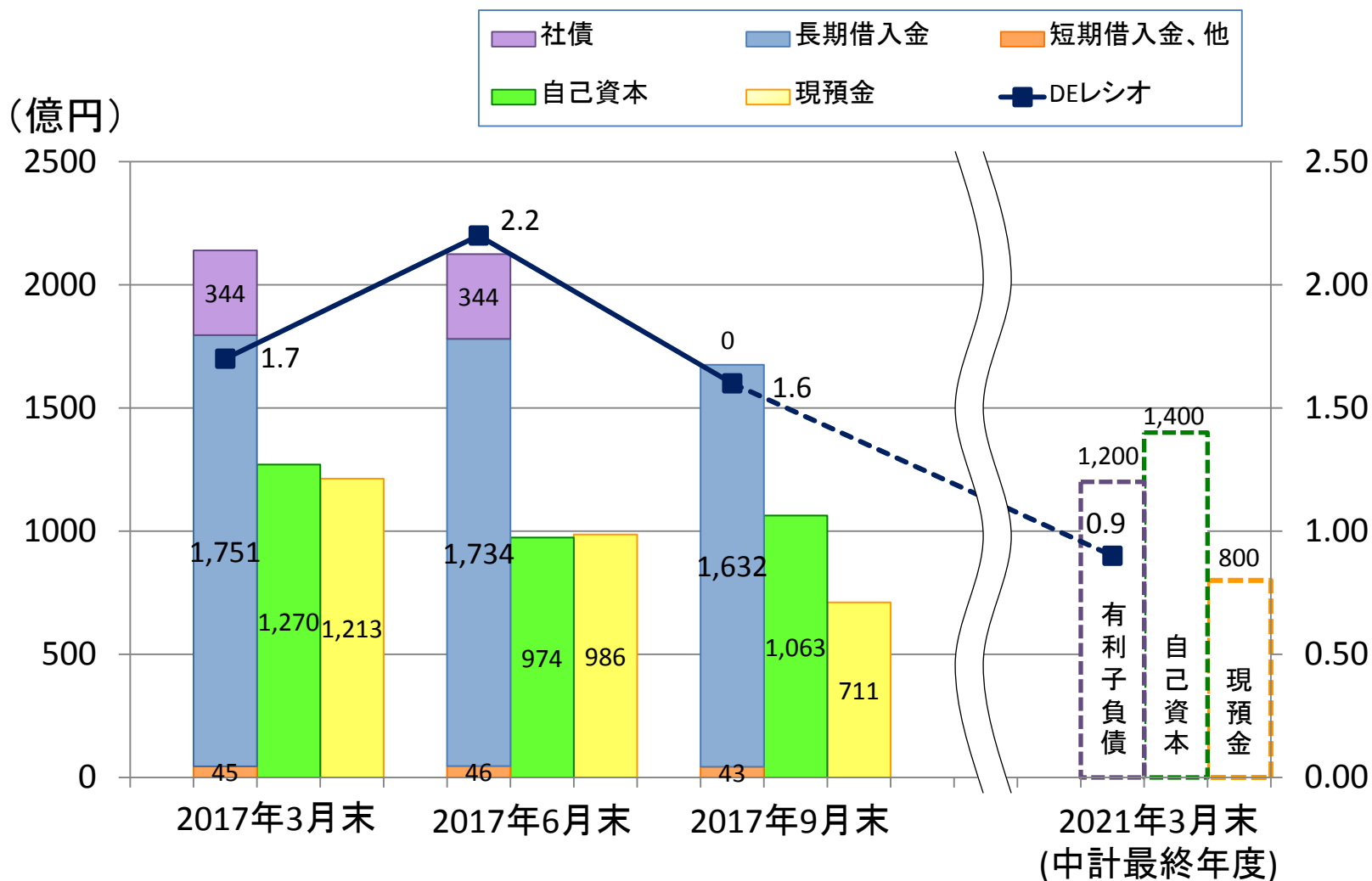
2. 有利子負債削減

- 当社が発行している全ての社債について、デット・アサンプション契約を締結。社債金額(344億円)と将来予定している利払額から予定運用益を差し引いた金額(約16億円)を信託することで社債をオフバランス化。
- 長期借入金の通常の約定弁済に加え、期限前弁済を実施し、長期借入金が119億円の減少。



DEレシオが1Q時から0.6ポイント改善し、1.58倍。
金融機関のご協力を得て、引き続き、有利子負債削減を進める予定。

2. 有利子負債削減



3. 台湾徳亜瑪の第2工場建設

半導体製造に用いる電子工業用高純度薬品の製造販売を行う台湾徳亜瑪の第2工場の建設を決定。運転の開始は2019年1月を予定。

需要拡大を続ける半導体市場において、電子工業用高純度薬品の供給体制を強化し、さらなる需要増と要求品質の向上に対応して、事業拡大を図る。



Chemistry with a heart

TOKUYAMA



A photograph of an industrial facility, likely a refinery or chemical plant, featuring a tall, green-painted metal structure with a walkway and various pipes and tanks. The sky is blue with some clouds.

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. キャッシュ・フローの状況
3. 営業外損益の内訳
4. 特別損益の内訳
5. 主要指標
6. 業績推移
7. 主要原燃料価格推移
8. 設備投資額・減価償却費推移
9. 有利子負債残高推移

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2017年 3月期 第2四半期	2018年 3月期 第2四半期	増減	
			金額	%
売上高	1,425	1,461	+35	+3
売上原価	958	982	+23	+2
販管費	291	290	△0	△0
営業利益	176	188	+12	+7
営業外損益	△31	△31	△0	-
経常利益	145	156	+11	+8
特別損益	59	△17	△76	-
税前四半期純利益	204	139	△64	△32
法人税等	13	86	+72	+534
非支配株主利益	6	51	+45	+753
親会社株主に帰属する 四半期純利益	184	1	△182	△99

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(億円)

	2017年 3月末	2017年 9月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,244	3,616	△627	△15
流動資産	2,466	1,950	△515	△21
有形固定資産	1,192	1,113	△79	△7
無形固定資産	47	34	△13	△28
投資その他の資産	537	518	△18	△4

	2017年 3月末	2017年 9月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,884	2,445	△439	△15
流動負債	791	839	+47	+6
固定負債	2,093	1,606	△486	△23
純資産合計	1,359	1,171	△188	△14

4 補足資料

2. キャッシュフローの状況

連 結

(億円)

	2017年 3月期 第2四半期 累計	2018年 3月期 第2四半期 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー①	41	265
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△7	△34
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	34	231
財務活動によるキャッシュ・フロー④	△53	△710
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	△10	1
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	△30	△477
現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,211	1,188
現金及び現金同等物の期末残高⑧(⑥+⑦)	1,181	710

4 補足資料

3. 営業外損益の内訳

連 結
(前年同期比)

(億円)

		17年3月期 第2四半期 累計	18年3月期 第2四半期 累計	差損益	備 考
営業外収益	受取利息・配当金	1	2	+1	
	その他	18	19	+1	業務受託料 +2 試作品売却収入 +2 受取補償金 △4
	計	20	22	+2	
営業外費用	支払利息・社債利息	21	20	+1	
	その他	29	34	△4	社債償還損 △16
	計	51	54	△3	
営業外損益		△31	△31	△0	

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4 補足資料

4. 特別損益の内訳

連 結
(前年同期比)

(億円)

	17年3月期 第2四半期 累計	18年3月期 第2四半期 累計	差損益	備 考
特 別 利 益	64	83	+18	受取損害補償金 +77 債務取崩益 △12 関係会社株式売却益 △19 補助金収入 △21
特 別 損 失	5	101	△95	契約解除損失 △3 契約解除損失引当金繰入額 △10 事業譲渡損 △80
特 別 損 益	59	△17	△76	

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

5. 主要指標①

連 結
(前年同期比)

		2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増 減
設備投資額	億円	60	86	+26
減価償却実施額	億円	69	66	△3
研究開発費	億円	38	38	+0
金融収支	億円	△19	△17	+2

5. 主要指標②

連 結
(前 期 末 比)

		2017年3月末	2017年9月末	増 減
有利子負債	億円	2,139	1,675	△464
期末人員	人	5,406	4,845	△561

5. 主要指標③

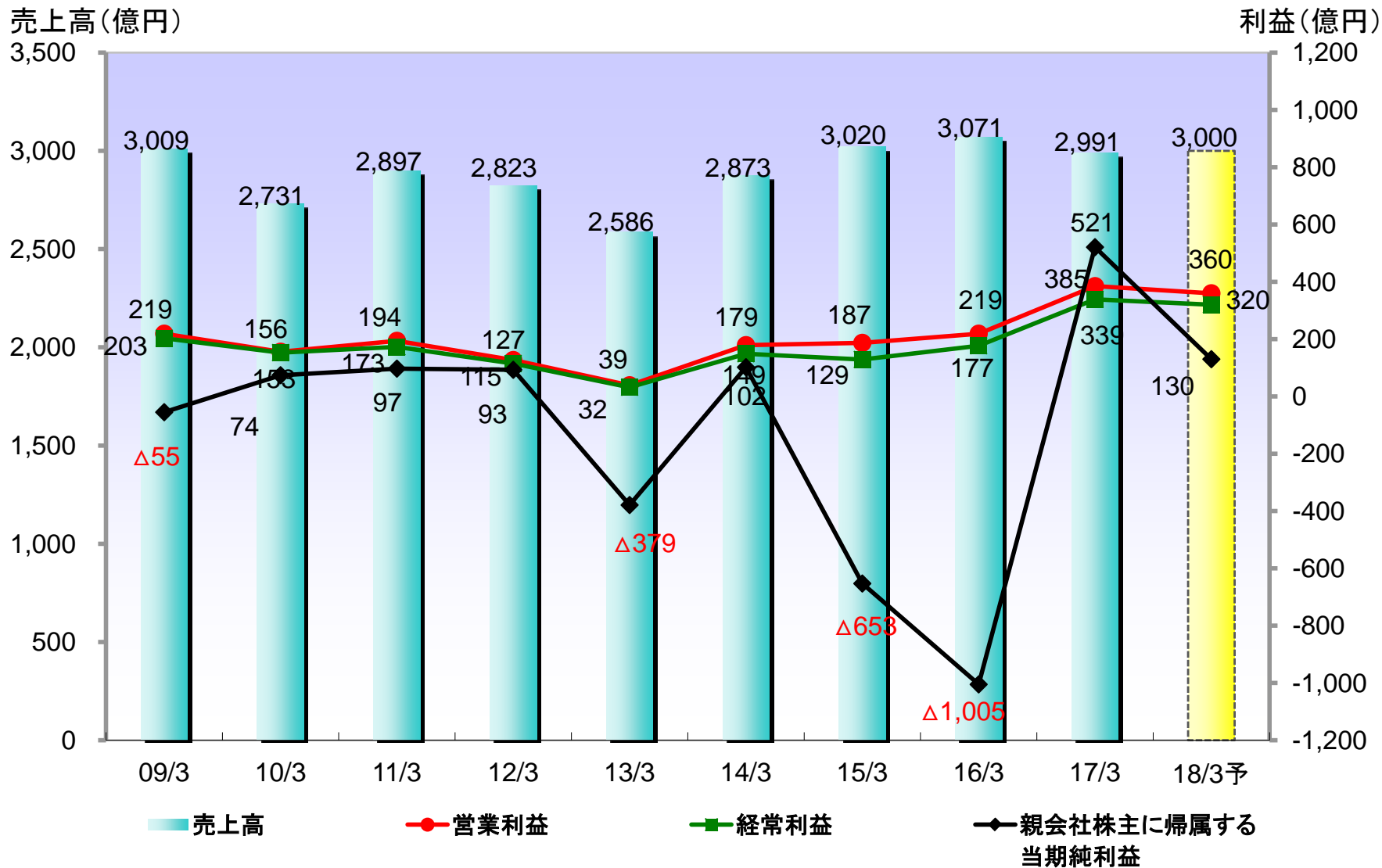
連 結
(予想の前期比)

(億円)

		2018年3月期 予想	2017年3月期 実績	増 減
設備投資額	認可枠合計	207	-	-
	見込(18.3期) 実績(17.3期)	174	173	+1
減価償却費		141	142	△0
研究開発費		83	75	+7

6. 業績推移

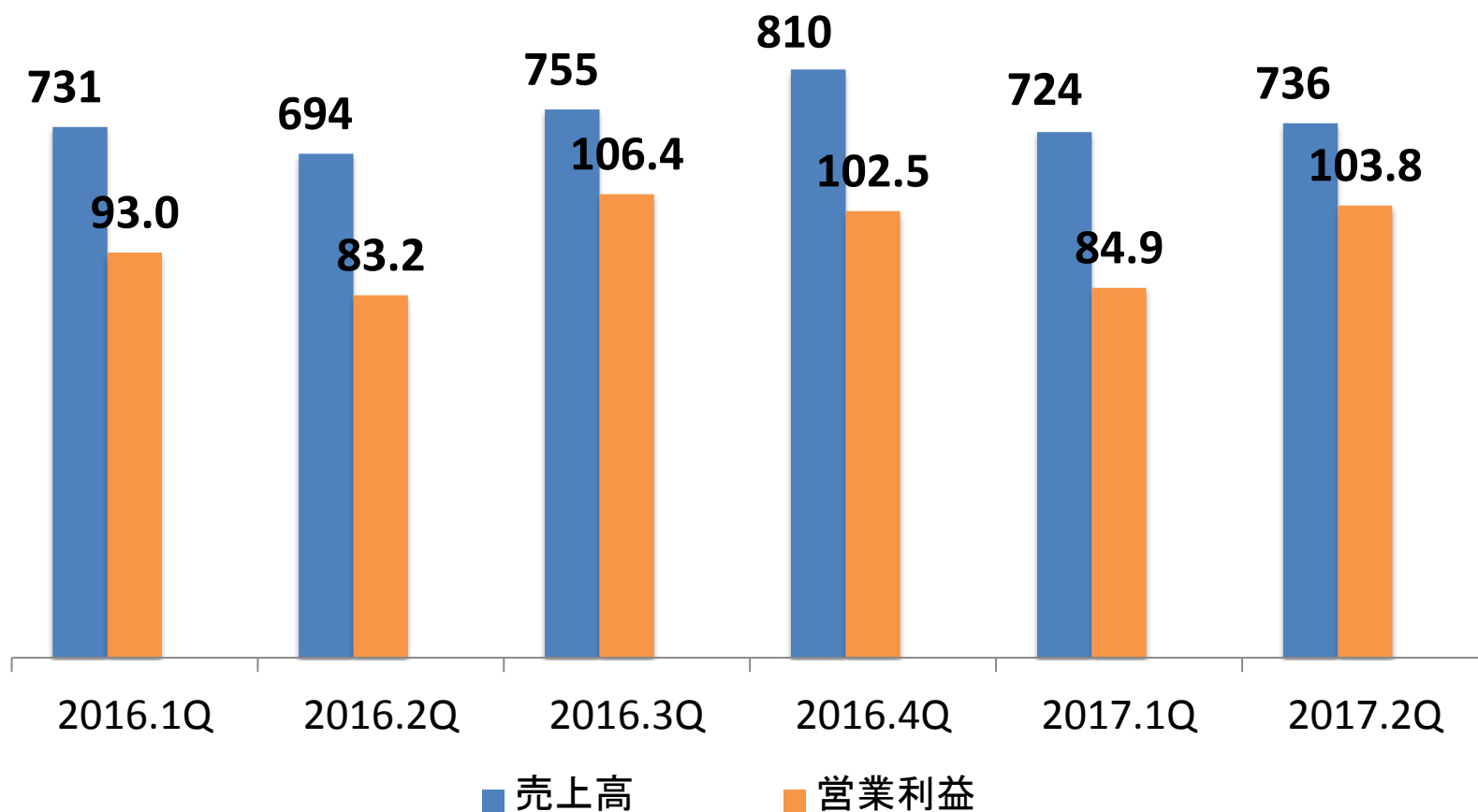
連 結 (通 期)



6. 業績推移 (四 半 期)

連結

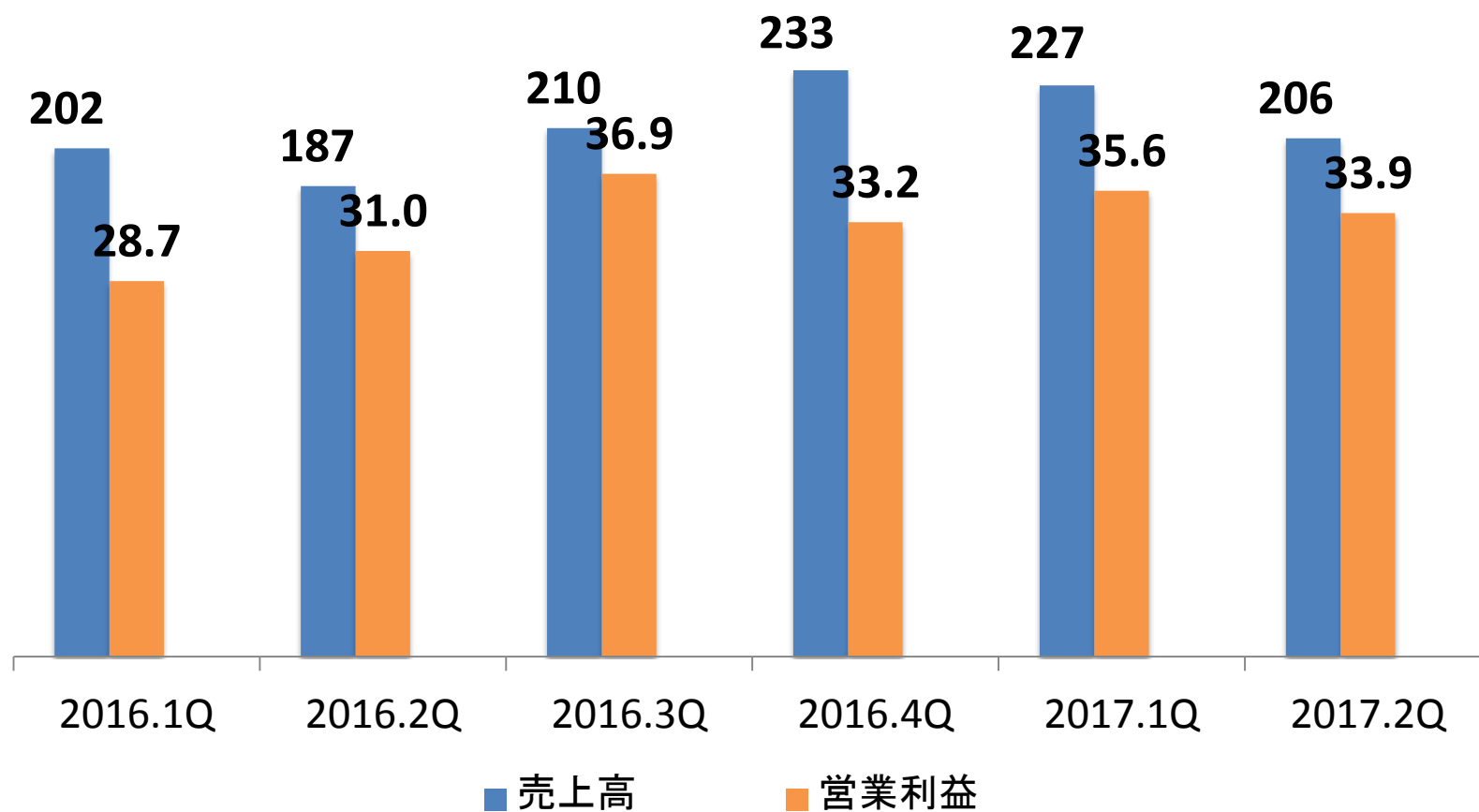
(億円)



6. 業績推移 (四 半 期)

化成品

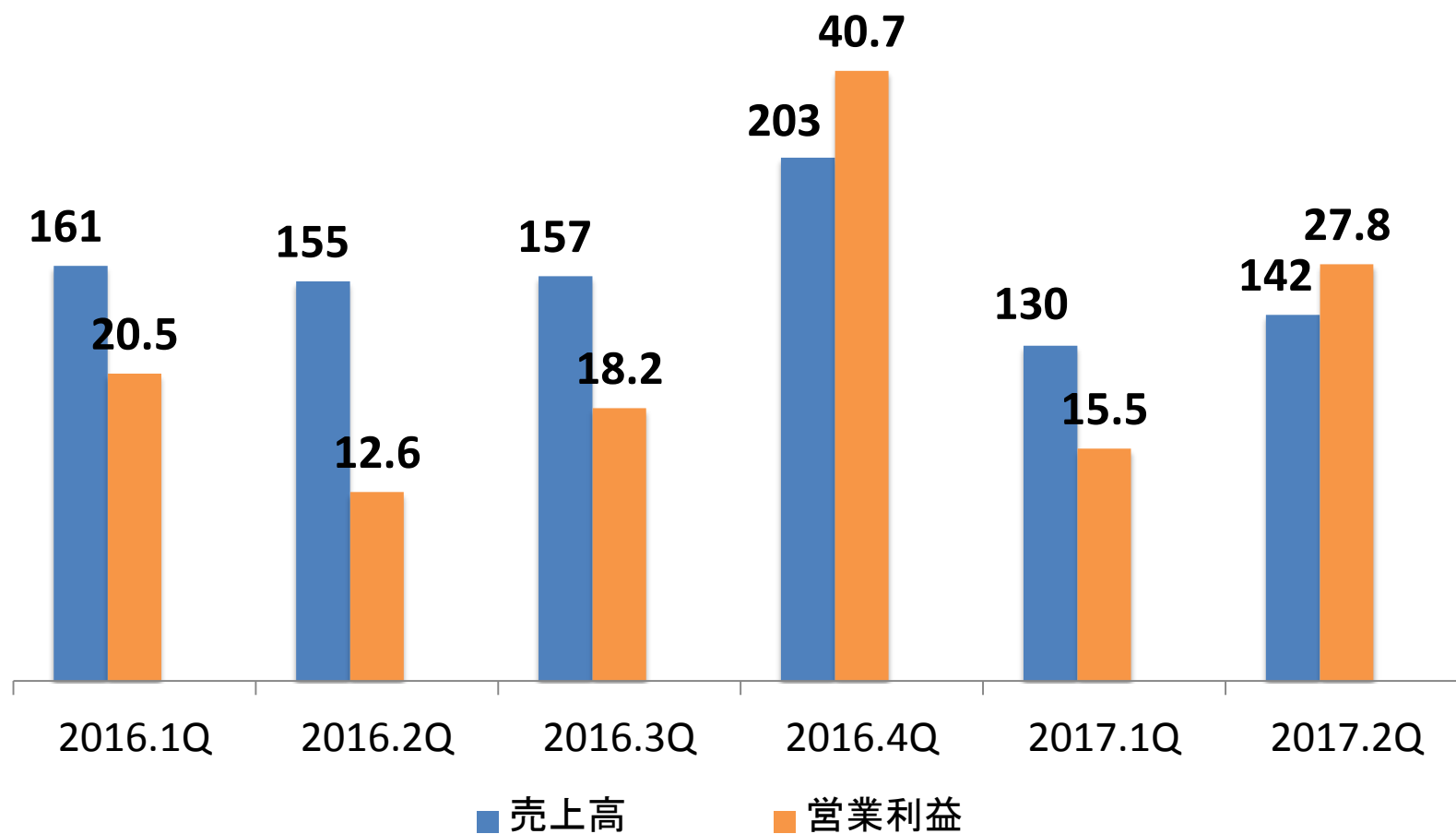
(億円)



6. 業績推移 (四 半 期)

特殊品

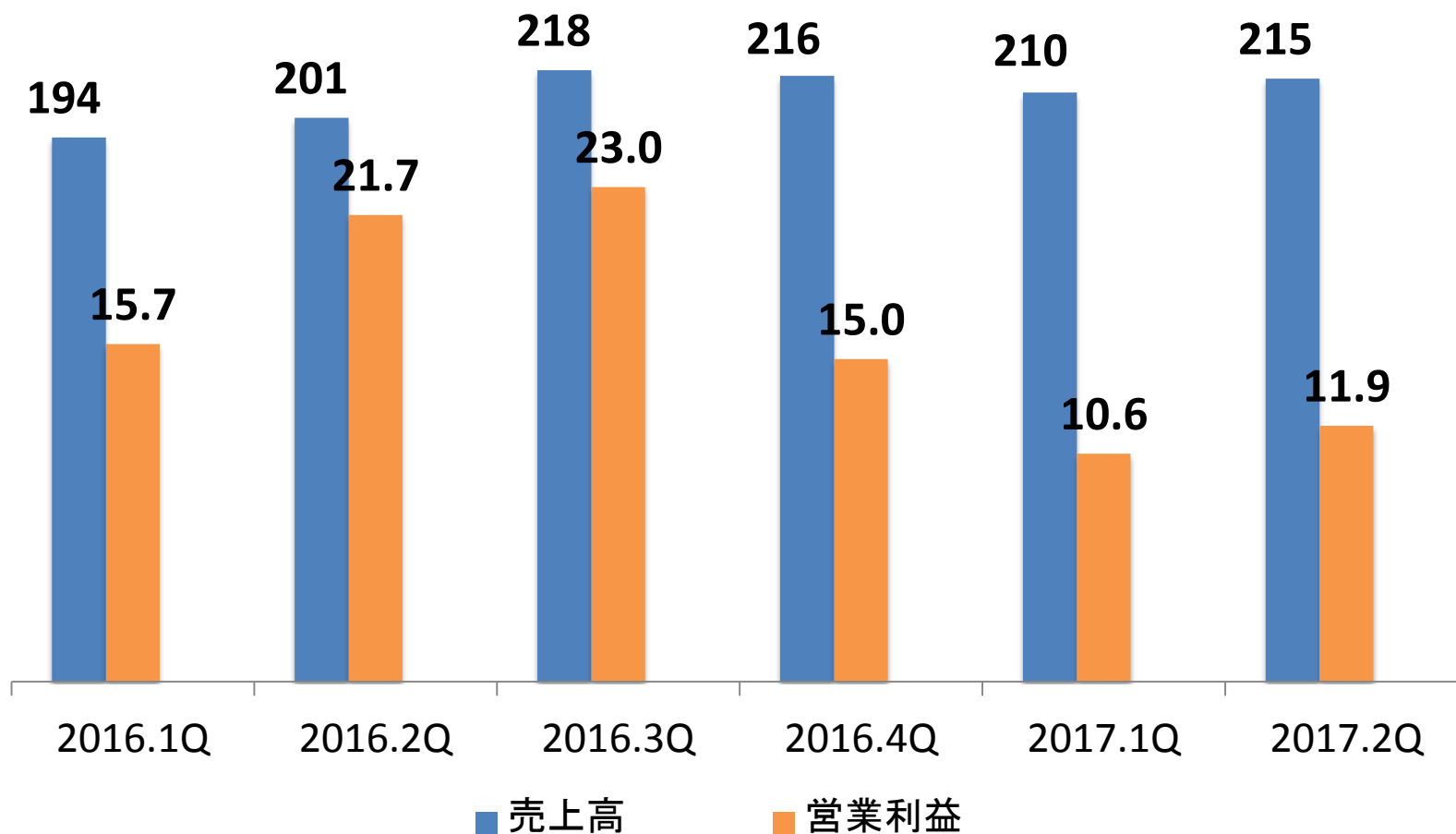
(億円)



6. 業績推移 (四 半 期)

セメント

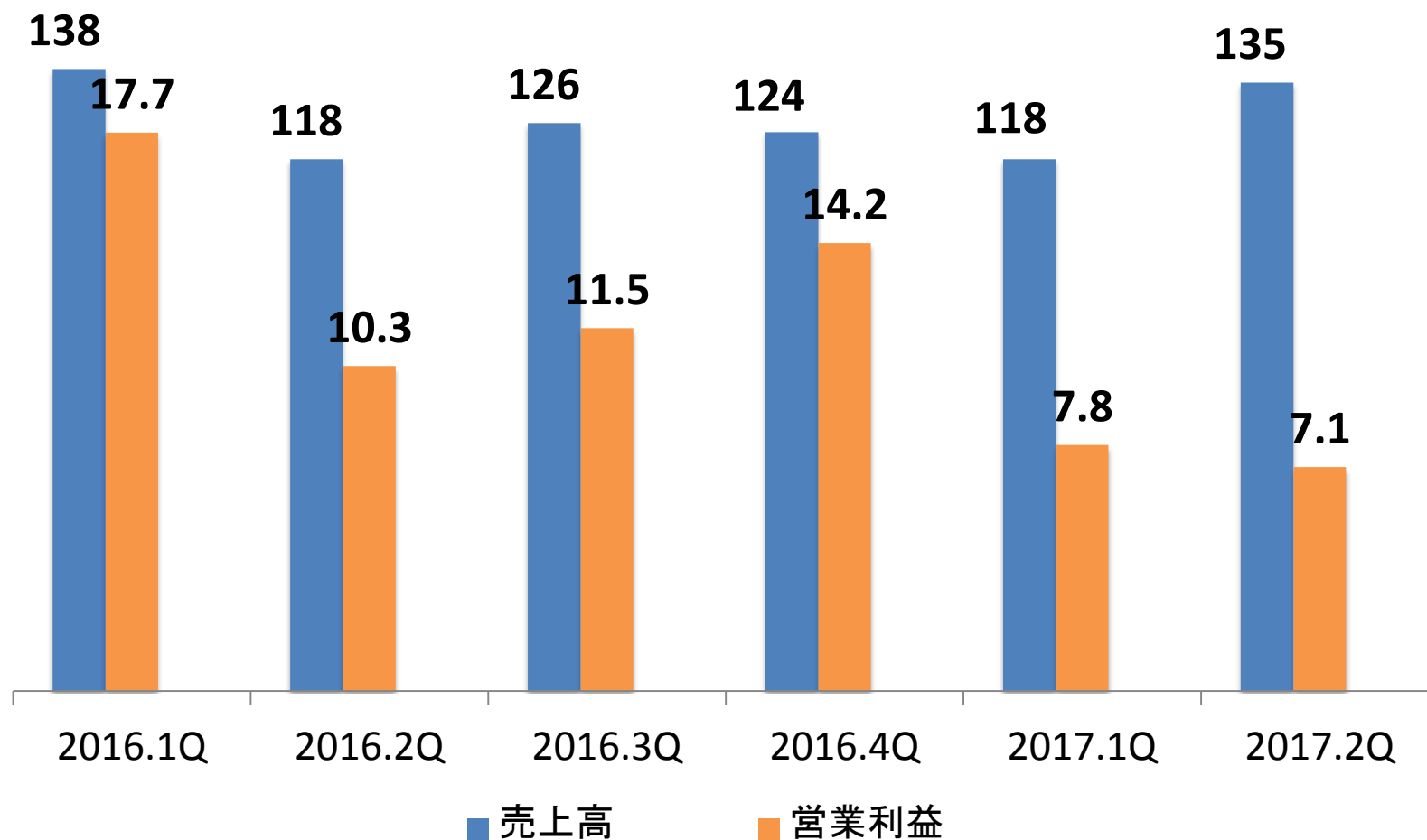
(億円)



6. 業績推移 (四 半 期)

ライフアメニティー

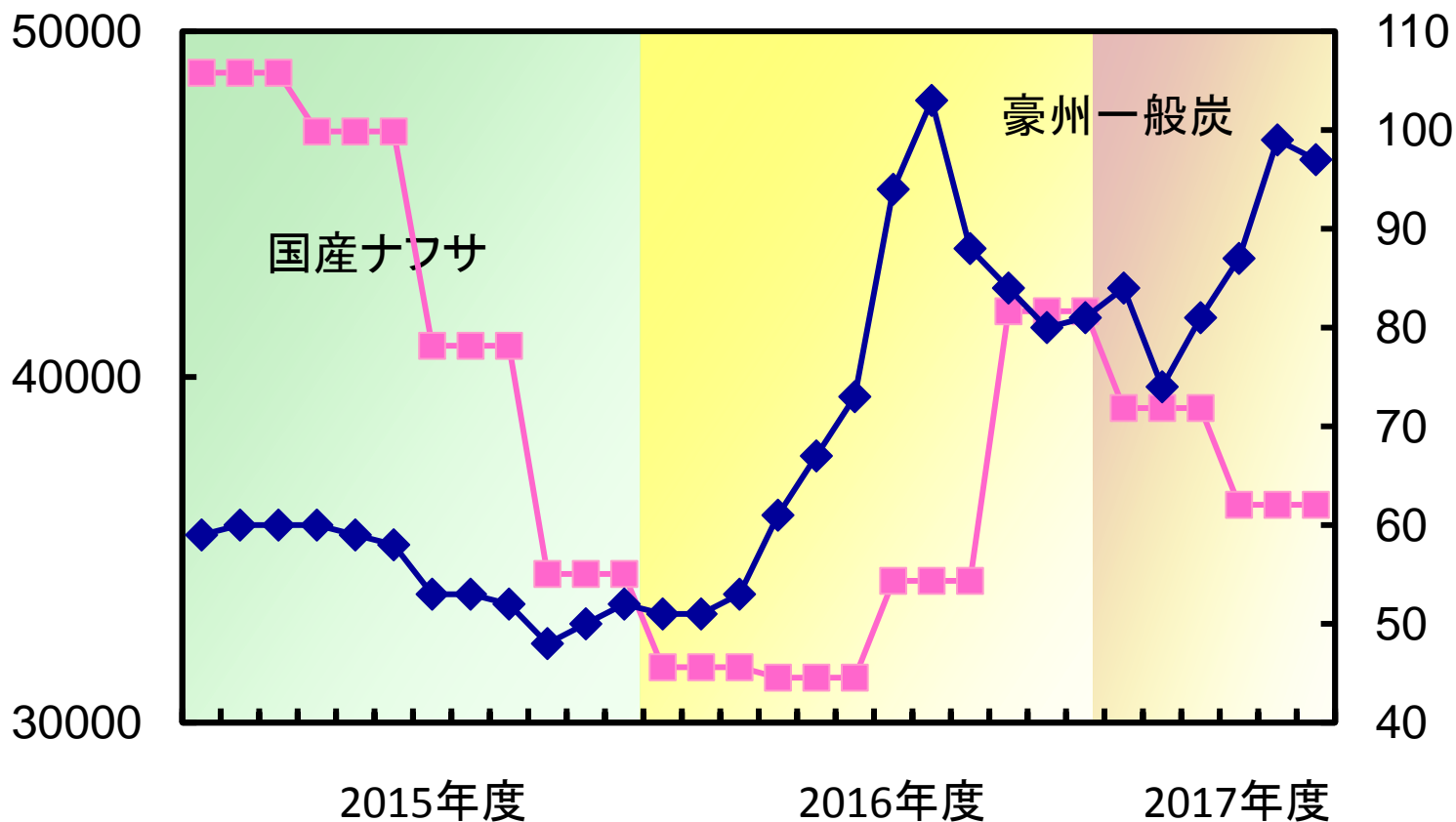
(億円)



7. 主要原燃料価格推移

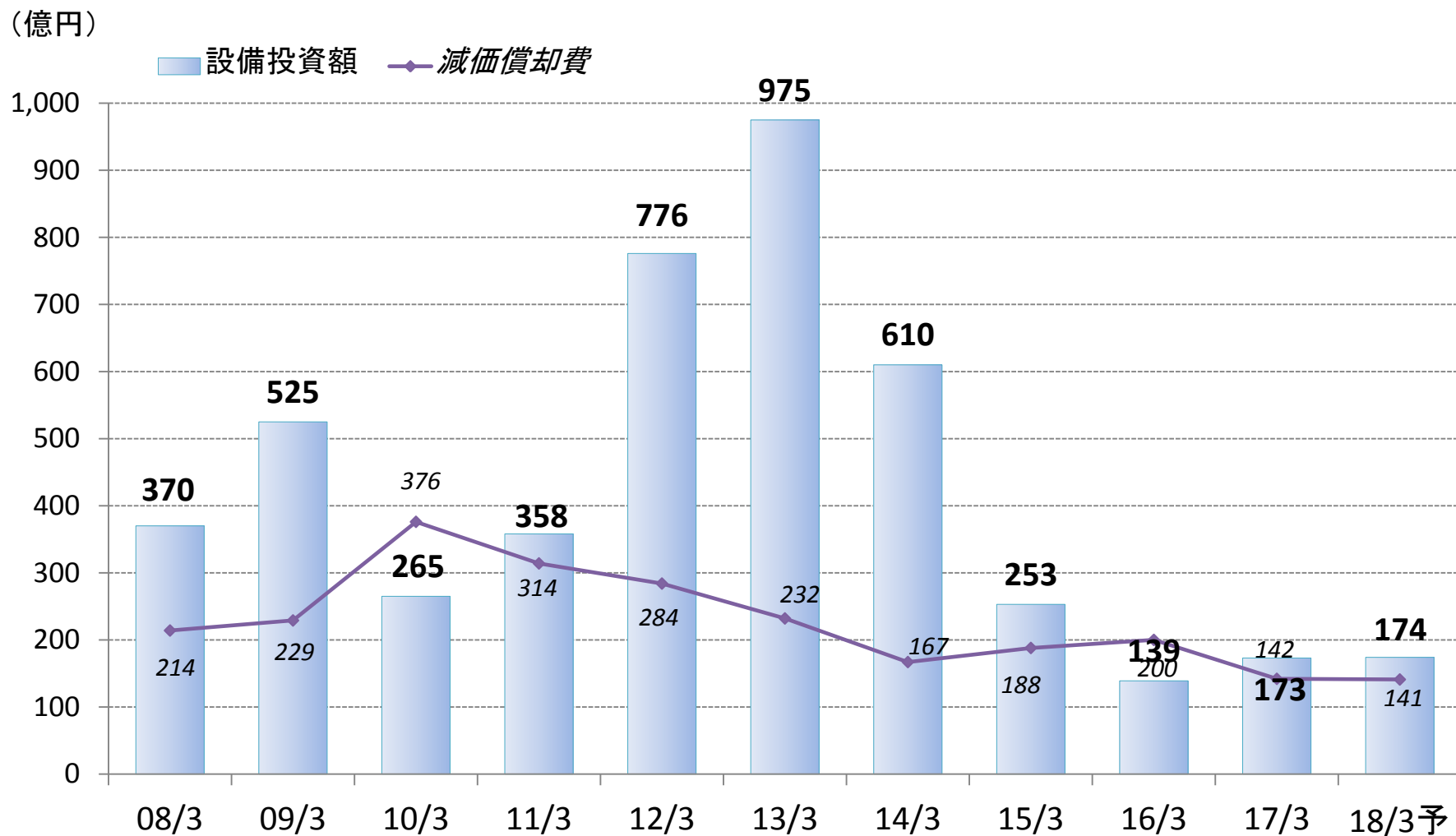
国産ナフサ価格
(円/kl)

豪州一般炭スポット価格
(\$/トン)



8. 設備投資額・減価償却費推移

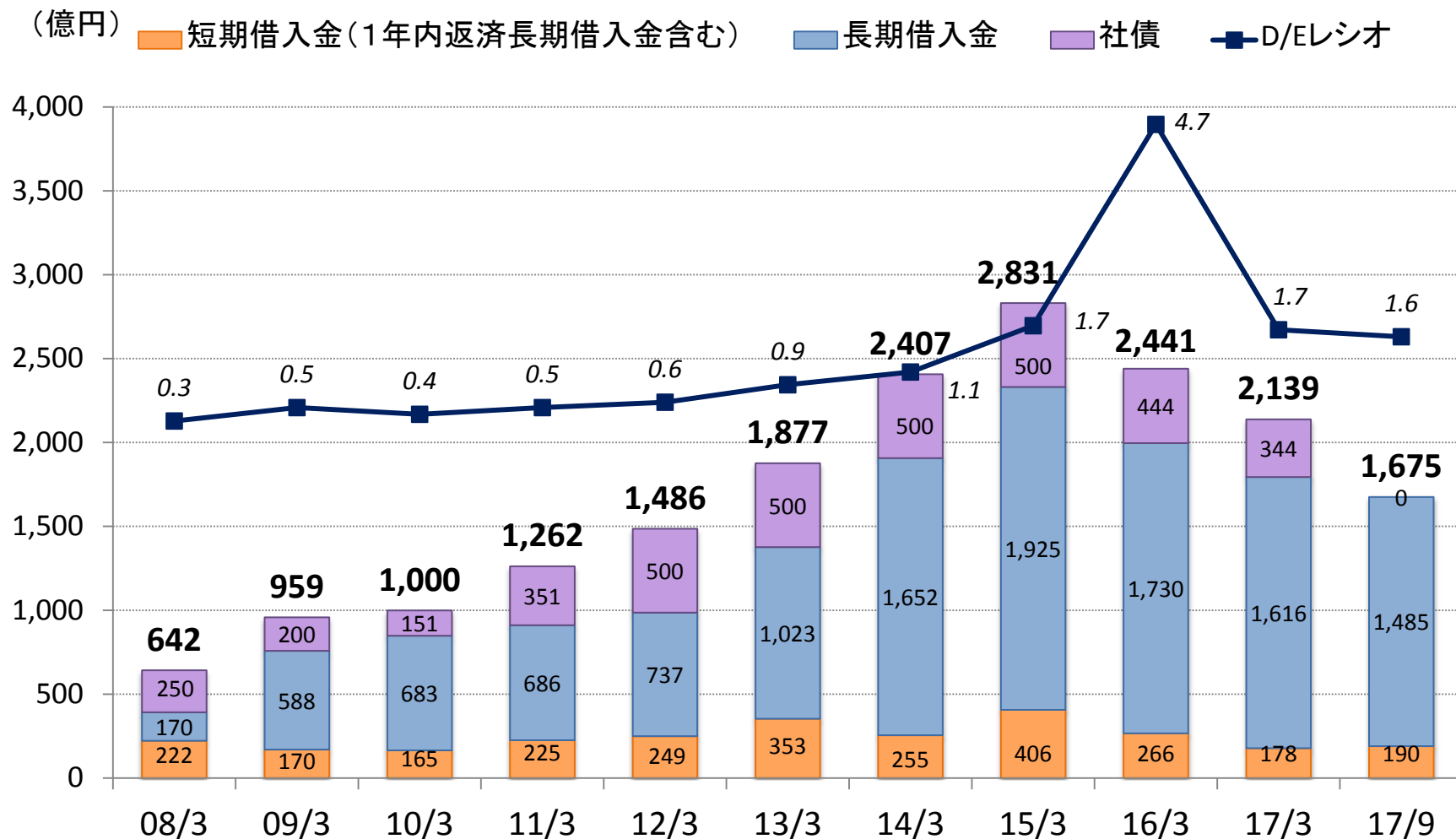
連 結



4 補足資料

9. 有利子負債残高推移

連 結



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

